

# 介護老人保健施設しおん

症 例 概 要    ご利用者    : 80代女性

利用期間    : 令和4年12月～令和5年6月

病名    : 下顎歯肉癌    口腔底癌

経過    : 2015年に下顎歯肉癌術 頸部廓清下顎骨区域切除舌垂全摘し胃瘻造設。何度も病院と在宅を行ったり来たりしながら在宅生活が送れるようにしていた。しおんには2020年から定期的にショートステイなど利用していた。

## 内 容

2022年12月から長期入所しました。ADLは車椅子の移乗見守りレベルです。ご本人の気持ちが前へ向かず、必要な時以外は離床せず不活発な状態でした。

下顎歯肉癌術 頸部廓清下顎骨区域切除舌垂全摘していたため自立的な発語はほとんどなく「うん」のみの発語で、頷きなどでコミュニケーションをとっていました。入所して1か月ほどたった頃から口腔がんが再発。こまめな口腔ケアを実施していましたが、3週間程でブロッコリー状態となり潰瘍部からの浸出液や出血が多く、臭気も強くなってきました。

居室に消臭剤を置き、浸出液の吸収を良くするガーゼに変更するなど工夫をしていましたが効果はなく、かかりつけ医に相談しゲントシン軟膏を試しましたがあまり効果なく、ますます部屋にこもりがちになっていきました。

このままではいけないと色々な文献を調べ、メトロニダゾール軟膏が効果があるというものでした。正規の軟膏は薬価が高く、老健での使用には限界がありましたが、調べてみると薬価の安いフラジール錠を粉砕しマクロゴール軟膏との混合で作れる事がわかり、施設長の許可を得て試作しました。試作のメトロニダゾールを塗布すると、使い始めて数日で劇的に臭気が消え、ご利用者にも大変喜んで頂きました。また、それに伴い活動性も向上し、離床時間の増加や散歩などQOLの向上にも繋がりました。

現状では在宅復帰は難しいとのご家族の意向でしたが、「これなら帰れるかもしれません。」と前向きな言葉をいただく事ができ在宅に復帰することもできました。

この症例から、ご利用者の望みをしっかりと受け止め、自分たちにできることを追究する事で親身な対応につながっていく事がわかりました。多職種がワンチームで取り組み、その結果ご家族も巻き込み Our Teamとなることで最善のゴールを勝ち取る事が出来たのだと思います。これからも親身な対応を心がけ業務に邁進していきたいと思えます。